

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

|      |                                                      |     |            |
|------|------------------------------------------------------|-----|------------|
| お名前  | 重藤 拓也                                                | 学校名 | 北九州市立高須小学校 |
| 実施学年 | 6年生                                                  | 教科  | 外国語科       |
| 単元名  | Lesson4 My Summer Vacation (教育出版「ONE WORLD Smiles6」) |     |            |

### 《学びを深めたいポイント》

本単元では、児童が過去の行動や感想等の表し方を学び、「夏休みの思い出」という身近な話題について、内容を自分で考えて英語で表現することをねらいとしています。この単元で児童は英語には過去を表す表現（過去形）があることを知り、音声で十分に慣れ親しんだ後に自分が伝えたいことに合わせて英語表現を選んで友達と伝え合います。また、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的表現を用いて英文を書くこともします。

そのため、本単元では児童が自分の「夏休みの思い出」に合った英語表現（ate, enjoyed, went to, saw など）を選択して自分のことを伝えたり、自分が言いたい英語を用いた例文を見ながら4線の上に正しく書き写したりすることが必要となってきます。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

本単元では、下記のような計画で SKY MENU を活用しました。

1時目 ☞ 児童に気づきメモに「夏休みの思い出」を記録することで、学習を進めても自分が伝えたいと考えたことを忘れたり、表現が微妙に変化したりすることを防ぐ。

また、児童のメモを基に本単元で扱った方がよい英語表現の精選を行う。

4時目 ☞ 1時目のメモを発表ノートに移し、日本文を見ながら自分の思い出を伝えるのに適切な英語を表すイラストカードを資料置き場から選択したり、英文の目的語となる単語だけを手書きしたものを写真に撮ったりすることで、英文づくりができるようにする。

5時目以降 ☞ 発表ノートで作成した英文をヒントに発表練習を行ったり、それを手本に英文を書き写したりする。

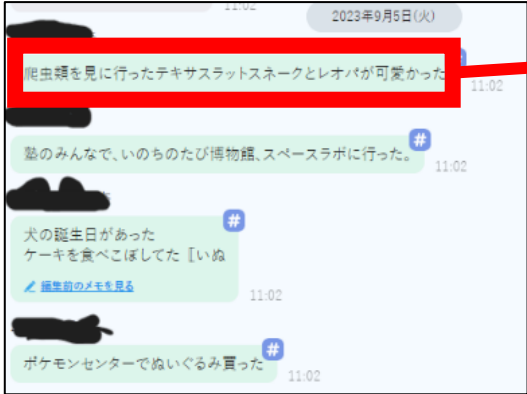
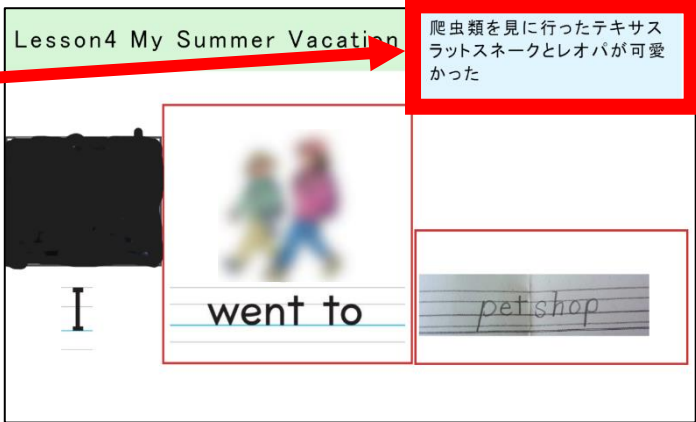
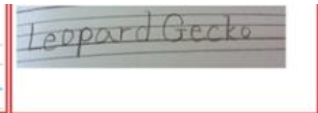
（本実践で使用した発表ノートは次の通り。）

|                            |     |           |
|----------------------------|-----|-----------|
| Lesson4 My Summer Vacation |     | 気づきメモスペース |
| 自分の顔写真                     | ～した | 写真        |
| I                          |     |           |

|        |
|--------|
| It was |
|--------|

### 《実践内容》

|    | 学習活動                        | SKYMENU 活用場面 | 活用のポイント |
|----|-----------------------------|--------------|---------|
| 導入 | 1 前時学習内容を振り返り、本時学習のめあてをたてる。 |              |         |

|    |                                                                                       |                                                                                                                             |                                                                                                                                             |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 自分の夏の思い出が伝えられるように英文を作って、伝える練習をしよう。                                                    |                                                                                                                             |                                                                                                                                             |
| 展開 | <p>2 教科書に付属の音声教材を使い、本単元で学習した英語表現を思い出す。</p> <p>3 発表ノートを用いて、自分が伝えたい内容に合わせた英文づくりをする。</p> | <p>○ 児童は気づきメモにメモしておいた内容を発表ノートに移す。</p>                                                                                       | <p>○ 児童が自分の思い出を伝えるのに適した英語表現を選択しやすくなるようにするために、気づきメモに記録した「夏の思い出」を発表ノートに移させる。</p>                                                              |
|    |     | <p>Lesson4 My Summer Vacation</p>        |                                                                                                                                             |
|    |                                                                                       | <p>○ 児童は「I（動詞の過去形）」という形になるように、英語のイラストカードを資料置き場から選んで貼り付ける。</p> <p>○ 児童は、動詞の目的語を4線の上に手書きしたものを撮影して、発表ノートに挿入する。</p>             | <p>○ 児童が自分の思い出に合わせて英語表現を選択できるようにするために、資料置き場に慣れ親しんできたイラストカードを配置する。</p> <p>○ 児童が分の思い出に合った例文が完成するようにするために、イラストカードと写真を並べることで、自発表ノートに枠を設定する。</p> |
|    |                                                                                       |                                         |                                                        |
|    | 4 「夏の思い出」を相手に伝えられるようにするために個人やペアで練習する。                                                 | <p>○ 「夏の思い出」に対する感想についても「It was～」という形になるように、児童は4線に書いたものを写真で撮影して挿入する。</p> <p>○ 児童が、練習の中で変えた方がよいと思った点などを伝え合い、必要に応じて使用する英語表</p> | <p>○ 発表ノートは、1ページに1つの事柄に関する英文を作らせることで、ペー</p>                                                                                                 |

|     |                 |                                                             |                             |
|-----|-----------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------|
|     | 5 発表ノートを提出する。   | 現を変えたり、話す順番を変えたりする。<br><br>○ 児童は提出機能を用いて、出来上がったところまでで、提出する。 | ジを入れ替えるだけで、話す順番を変えられるようにする。 |
| まとめ | 6 本時学習の振り返りを行う。 |                                                             |                             |

## 《実践を振り返って》

本実践では、まず単元の導入段階で事前の準備をしたことの上に成立しています。それは単元の導入段階で気づきメモに児童一人一人の思い出を、夏休みの余韻が残っている間に記録させたことです。この時点で気づきメモを活用したことで、複数の学級の児童の考えを GIGA 端末一台で把握でき、本単元で必要な英語表現を選定することが容易になりました。そのため、児童は自分の思いに合った表現を選びやすくなり、本実践で英文を作ることが負担の少ないものとなりました。

本実践については、SKYMENU 活用気づきメモで記録しておいたことを発表ノートに移動させた上で、自分の思い出に適した英語表現を考えられるようにしました。そのため、児童は夏休み明けの気持ちを思い出しながら英語表現を考えることができており、有効な活用だったと考えています。また、資料置き場に前時まで慣れ親しんできた基本的な語句のイラストカードを格納して児童に提示したことで、児童は音声とイラスト、文字を一致させながら英文づくりに取り組むことができました。そしてイラストカードや児童が書いた英単語の写真を、ノート上のどこに配置するか等を囲み枠を背景化して示したことで、児童は概ね1行で自分の思いに合った英文をつくることができました。

このように1時目から SKYMENU を活用して、その後の学習に取り入れていくことは、児童が思考を整理したり学習内容の定着を図ったりすることにつながられると思いました。